



入学選考小論文用紙

あたりがな

※評点1 ※評点2 ※総合 ※受験番号

氏名

出題
題材
<小論文>関心を寄せている日本の福祉問題について論述し、あなたが思う今後の社会福祉士像を書きなさい。

※鉛筆不可、直筆にて文字数800字程度

昨年の冬、本を買いに神戸に出かけた。阪急三ノ宮駅西口改札の階段を下りたところにドトールコーヒーがある。いつものようだ、ミラノサンドをホットコーヒーでほおばってると、ふと目にに入った。人がコンクリートの上に座っている。路地に直交する狭いスペースにホームレス風の青年が一人、うすくまっている。黒っぽいジャンパー、ズック靴化、所持しているのはデイパック一つ。私は、自分の食事を終え、ジュンク堂書店へと歩を進めた。が、もう一度、コーヒーショップに戻り、菓子パンとホットコーヒーを求め、テイクアウトした。うなだれて座りつくして、彼の腰の辺りに、その紙包みを置き、「どうぞ、食べて下さい」と去った。背中に、彼が紙袋を開ける気配を感じながら。

社会福祉の対象領域は広範多岐に亘る。生きている人間で、かつ、自力で生活問題を解決することが困難な状況に陥っている人が、

対象者となる。世の中には、一生「福祉のお世話にならずに」、あの世に往く人もいる。²⁰相応の経済力があり、支えてくれる家族やパートナーに恵まれた人々である。人は誰しも、この世に生を受けたら、死を迎えるまで、ライフ・ステージに応じて、達成課題・生活問題に見舞われ続ける。「生活問題を解いてゆかなくては人生が全うできない」ということは、人にとて普遍的である。さて、対象者に目を移そう。困難に喘ぐ対象者の抱えていた問題は、一人一人個別な様相を呈している。³⁰その人の生活史・人生観・文化性を反映しているから。求められる社会福祉士とは、人の普遍性と対象者の個別性を同時に理解し、今日の前の、この対象者を幸せに導く為、スマーマル、インフォーマルな関係者と連携を図りつつ、将来を見すえ、その時々最善の解決策を提示し続ける者である。対象者の状況は変化する。故に、次の一手、次なる一手を摸索し続け、適応し続ける能力が必要である。その原動力は、愛であり慈悲であってほしい。⁴⁰